

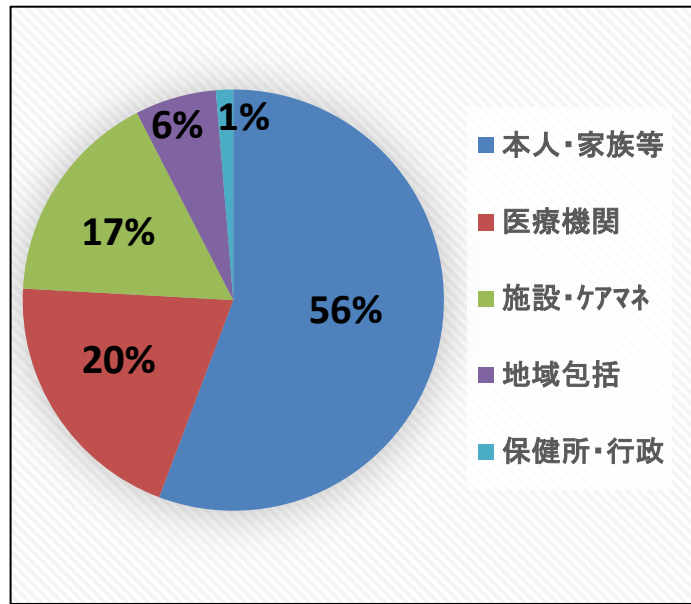
秋田県認知症疾患医療センター便り

平成26年11月発行 NO.2

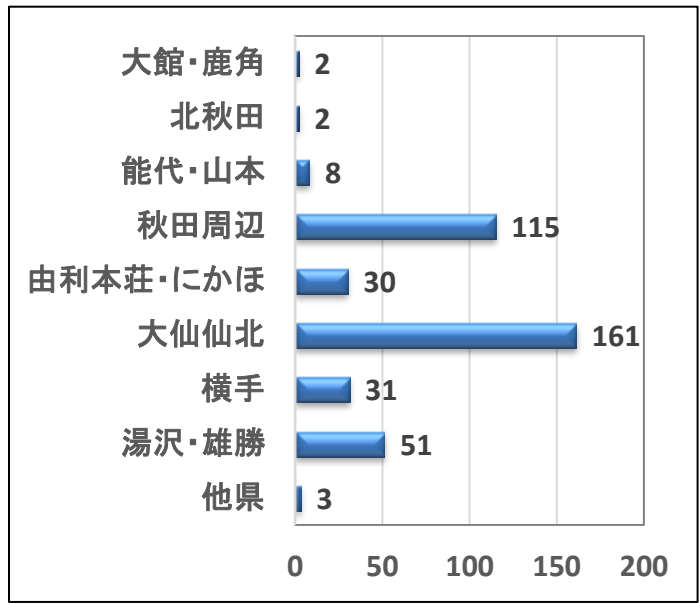
開設後1年間の相談状況（H25.10月～H26.9月）

相談件数－1058件
 （電話－889件、面接－71件、FAX予約－98件〔H26.2月～〕）

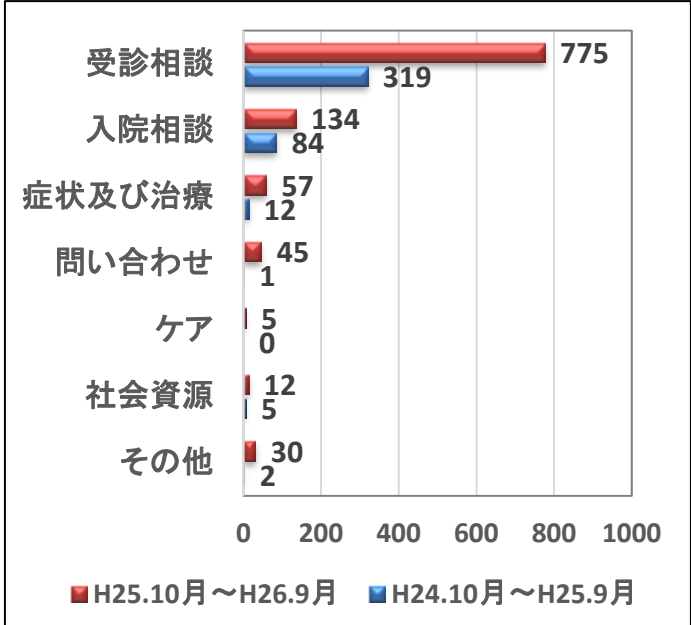
1) 相談元



2) 新規外来受診者（地域別）

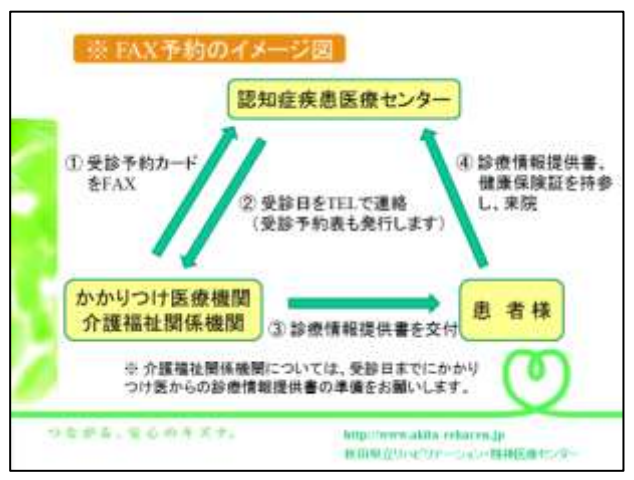


3) 相談内容（開設前との比較）



FAX受診予約について

認知症疾患医療センターでは、医療機関や介護福祉関係機関等からFAXで『もの忘れ外来』の受診予約を受け付けています。
 受診予約カードの様式はホームページからダウンロード可能です。ご不明な点等ございましたら、お問い合わせください。



県南地区グループホーム・小規模多機能型居宅介護ミーティング

平成26年8月30日（土）にリハビリテーション・精神医療センター内にて地域密着型施設の皆様との情報交換及び相互連携を深める目的として、「県南地区グループホーム・小規模多機能型居宅介護ミーティング」を開催しました。下村センター長から「認知症の症状及び対応について」、船木専従相談員から「センターの活動状況等」についての講話の後、グループワーク（テーマ「夜間不眠・不穏及び強い帰宅要求のある方の対応について」）を行いました。

グループワークでは各グループとも活発に討議されており、様々な工夫を凝らしながら対応していることが分かりました。今後もこのような研修会を開催し、地域の施設との連携の強化及び地域の実情の把握を行っていききたいと考えております。

主なグループワークでの意見

（テーマ「夜間不眠・不穏及び強い帰宅要求のある方の対応について」）

夜間不眠・不穏の対応

- 日中眠るのを予防するために、個々に合った好きなレク活動（散歩・家事・DVD鑑賞など）などを積極的にを行い、活動量を多くする。
- ホールへ誘導したり、ベッドを持ってきて、見守りやすい場所で付添う。
- 入浴や足浴をする。



帰宅要求の対応

- その方に寄り添いながら訴えを聞き、気持ちが落ち着くまで一緒に歩いたり、自宅までドライブを行う。
- レクやお手伝いをお願いしたりと人それぞれに合わせた気分転換を行う



県南地区居宅介護支援事業所ミーティング

平成26年10月18日（土）にリハビリテーション・精神医療センター内にてご本人・ご家族と密接に関わりのある、居宅介護支援事業所の皆様との情報交換及び相互連携を深める目的として、「県南地区居宅介護支援事業所ミーティング」を開催しました。下村センター長から「認知症の症状及び対応について」、船木専従相談員から「センターの活動状況等」についての講話の後、グループワーク（テーマ「認知症高齢者とそのご家族に対する支援で困っていること、工夫していること」）を行いました。

グループワークでは医療機関へ上手に繋がられるよう工夫していたり、今後予想される問題点を家族と話し合いながら支援したり、近隣住民へ現状を伝え、協力を得たりしながら支援していることなどが分かりました。その中でキーパーソン不在の方の対応、地域のネットワークの構築、主治医との関係作りなどの課題も見えてきました。今後もこのような研修会を開催し、地域の関係機関との連携の強化及び地域の実情の把握を行っていききたいと考えております。

主なグループワークでの意見

（テーマ「認知症高齢者とそのご家族に対する支援で困っていること、工夫していること」）

- 上手に医療と付き合う事により在宅にて本人と家族を支えてはいけるが、一方で家族と限界点を定め、今後について話し合いをしていく必要もある。
- 家族の理解力を高めたり、本人の意向を引き出したりしながら支援している。また、地域の方々の協力を得ていくことで無理にサービスへ繋がらずに見守りをしていく方法もあると思われる。
- 服薬管理については、半年後、1年後の本人の状態を考えて対応していく必要がある。
- 困難事例については、地域ケア会議等へ提案したり、目標を立て、誰がいつまでどのような支援をしていくのか具体的に考えていく必要がある。

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター

秋田県認知症疾患医療センター

〒019-2413

秋田県大仙市協和上淀川字五百刈田352

TEL 018-892-3751 FAX 018-892-3816

<http://mcd.akita-rehacen.jp/>

相談時間 一月曜日～金曜日 9:00～16:00（祝祭日は除く）